

令和6年度 鹿児島県「体験の風をおこそう」運動推進事業

ロボプロキャンプ

- 1 趣 旨 ロボット操作やプログラミング学習を体験することで、論理的な思考を身につけるとともに、自分の進路や将来を考えるキャリア教育の機会とする。
- 2 主 催 国立大隅青少年自然の家
- 3 企画運営 鹿児島県「体験の風をおこそう」運動推進実行委員会
- 4 期 日 令和6年5月18日(土)～19日(日) 1泊2日
- 5 対 象 者 小学5・6年生、中学生
- 6 募集定員 20人程度
- 7 参加者 18人(小学生10人 中学生8人) 申し込み:38人
- 8 指 導 者 都城工業高等専門学校 情報処理部 6人
鹿児島工業高等専門学校 Robogals Kagoshima 13人
国立大隅青少年自然の家職員2人 法人ボランティア3人



9 日 程

【1日目】		【2日目】	
12:30	集合・受付	6:30	起床
12:45	開講式 オリエンテーション	6:45	テント撤収
13:30	プログラミング体験 都城高専情報処理部	8:00	野外炊飯
16:45	テント設営	9:00	プログラミング体験 鹿児島高専 (Robogals Kagoshima)
17:15	野外炊飯	12:15	閉講式
20:00	入浴	12:30	解散
20:45	星空観望		
21:45	就寝		

10 事業運営上の配慮

- 講義や活動を円滑に進行するため、班構成を各プログラムの内容に応じて組み換えた。

11 参加者の感想

- プログラミングがとても楽しかった。
- アウトドアやインドアがあってよかった。
- 友達が増えてうれしかった。

12 成果と課題

- 両高専との連携を強化することができた。
- インドア体験（プログラミング）とアウトドア体験（テント設営、野外炊飯）を両立した特殊な事業であったが、全ての参加者から好評価を得ることができた。
- 2日目のインドア体験は、前日からの疲労もあり集中力が切れてしまっている参加者がいた。プログラムの内容や順番について検討が必要である。

